

事務事業名	浄化槽設置資金貸付事業				担当	建設部 下水道課 農業集落排水係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	下水道事業の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成元 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市浄化槽設置資金貸付要綱							
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1保健衛生費	4環境衛生費				
事業概要	・生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を目的に、浄化槽の設置推進を図るための設置補助と併せて事業化した制度（貸付条件等） 1.本市に住所を有すること 2.市税等を完納していること 3.自己資金のみでの工事費負担が困難であること 4.償還能力を有すること 5.連帯保証人を有すること 6.住宅金融支援機構から浄化槽設置貸付を受けていないこと ・平成元年度より、1件につき30万円を限度に無利子貸付を実施 ・貸付月の翌月から、毎月1万円ずつ償還。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 〔貸付手順〕借受申込受付 貸付決定通知 工事竣工届 工事竣工現地確認 借用証書提出 貸付金交付 〔償還手順〕貸付実施後に納付書送付 納付確認 未納者督促 翌年度納付書送付 納付確認 未納者督促 〔実績〕178件（平成元年度からの延件数） 30年度計画 前年度同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
ア	市広報掲載によるPR	回	2	2	2	2	2	
イ	区長町会長会議開催の際のPR	回	1	1	1	1	1	
ウ	申込み件数	件	1	0	0	0	1	
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 公共下水道認可及び農業集落排水事業区域以外の市民	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
ア	下水道認可区域・農集区域以外の人口	人	26,742	26,300	25,840	25,503	25,021	
イ								
ウ								
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 浄化槽の普及促進	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
ア	貸付件数	件	1	0	0	0	1	
イ	延べ貸付件数	件	178	178	178	178	179	
ウ	浄化槽の処理人口（補助設置分）	人	8,904	9,151	9,405	9,626	9,876	
エ								
オ								
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） ・快適で衛生的な生活環境の確保と公共水域の水質汚濁防止	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
ア	市全体の水洗化率（公共+農集+浄化槽）	%	75.8	76.6	76.6	77.6	78.7	
イ								
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	170	0	0	0	10
		一般財源	千円	130	0	0	0	290
	事業費計(A)	千円	300	0	0	0	300	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20
		人件費計(B)	千円	84	84	83	83	83
トータルコスト(A)+(B)		千円	384	84	83	83	383	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・浄化槽の普及促進を図るため、浄化槽設置補助事業と併せて貸付を制度化した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・近年は、借入金等の利率が低いことや、新築時に浄化槽設置資金を住宅資金に含めて借入していることなどから平成27年度以降の実績がない。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・理解されている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 適正な生活排水処理による生活環境の向上と環境保全は重要な施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市として浄化槽の設置促進を図っており、そのために自己資金では設置困難な世帯に対して、貸付制度を実施することは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 公共下水道事業及び農業集落排水事業以外の地域を対象とし、浄化槽の普及啓発をしている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 公共下水道事業及び農業集落排水事業以外を対象とし、借受申し込みのあった方は、すべて貸し付けが実行できている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 浄化槽の普及促進に影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 貸付限度額30万円の削減により設置者の自己負担額が大きくなり事業効果が減少する。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最低限の人件費であり削減は困難である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共下水道事業及び農業集落排水事業地域以外の市民を対象としており、公正・公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							